

鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話〇七七三三二一七

五十年に一度の勝縁

道元禪師750回忌の大遠忌

道元禪師の七百五十回大遠忌を来年に迎えて道元禪師ご生誕八百年を去年西暦二〇〇一年、平成十三年に迎え、道元禪師七百五十回忌の大遠忌が来年二〇〇二年、平成十四年に迫ってきました。

曹洞宗では、五十年に一度この大行事を行っております。私達の一生の中で大遠忌にめぐりあえる事は、おそらく一度しかありません。この記念すべき行事に積極的に参加したいと思います。

そこで、来年は、永平寺の大遠忌参加の旅行を五月に企画しております。

わたしたちの曹洞宗は、禅の教えをよりどころにした信仰生活に生きることをめざしています。それは、お釈迦様をご本尊としてあおぎ、大本山永平寺をお開きになられた道元さまと大本山総持寺をお開きになられた瑩山さまを

治世術を、吹く風の音で頼もしく掌握した。後年の俗謡にも「私しや太田の金山育ち、他に木はない松ばかり」と謳われる程、新田金山城は全山が松山の感で肉親の情愛・我が子を想つ親心の寺歴からも庵号に最適な命名で仏縁の有り難さに敬服します。

完成間近の茶室

滾る湯釜から生ずる松籟の妙なる響きこそ、侘茶の真髓で、冬に温もり盛夏に清涼感をもてなす心象体現の極致は、

まさに茶禅一致の理から、曹洞宗管長・永平寺住職で、百歳優る宮崎突保禪師より、庵号を「聴松庵」と賜りました。

桐生山鳳仙寺は、松籟の響き・松風を聴くために開創されたとしても過言ではない。

桐生城主・由良成繁公は自らの菩提寺として鳳仙寺を開基し、嫡子国繁公を新田金山城主、次子頼長公には、館林・足利両城主に配して、両毛地方の扇の要的桐生から、託した子息の



鳳仙婦人会だより

H13年4月～H14年3月までの行事計画

- 4月29日 婦人会総会
 - 6月14日 鎌倉方面 名参加 建長寺での法話等
 - 8月1日 座禅と粥の会
 - 9月予定 納涼会予定
 - 10月 有志による茶会 びらき予定、お手紙の申込みして下さい
 - 12月 本堂、守墓の 大掃除奉仕
 - 1月 新年会
 - 2月15日 涅槃会、住職法話 ねはん団子
- 以上年計画しております。途中からでも結構ですのでお寺まで連絡下さい。参加自由です。

桐生市指定史跡 由良成繁公の墓

本堂裏手の台地上に、桐生市の史跡に指定されている桐生領主・由良成繁公のお墓が見られます。五輪塔と呼ばれるお墓で「祖師再来意」「中山宗得居士」「天正六年(一五七八) 戌寅六月晦日」の銘が刻まれています。五輪塔は上部から「空・風・火・水・地」という仏教の五大を表す仏塔です。成繁公は、桐生氏との合戦で勝利を取った源年の天正二年(一五七四)に、由良氏の菩提寺として桐生山鳳仙寺を建立されました。ですから私たちの菩提寺・鳳仙寺の開基様なのです。「その(成繁公の)葬儀には、威儀を正した関東各地の大小の武将が、鳳仙寺境内を埋め尽くした。」との記録がありますので、成繁公の示した武威・信頼の大きさは、大変なものだったようです。(清水義男・記)



優姥口」を鑄させ、茶碗を焼き、茶道の風雅を究めた。稀代の戦国大名も、天正六年没し、離塵の環境趣く、茶趣茶境の鳳仙寺に葬られた。桐生城主・二代国繁公も紹興・成繁公から礼式直伝され茶巧者の誉れは小田原表にも周知された茶人で、北条氏政は天正十一年厩橋城(前橋)に茶室を建て、風雅なる茶会を催し、国繁・頼長公は、賓客扱いで招かれていた。この茶会こそ上州(群馬県)における、最初

【御詠歌たより】
第一、第四木曜日 月二回のお稽古です。随時申込み受付ます。



一般墓地

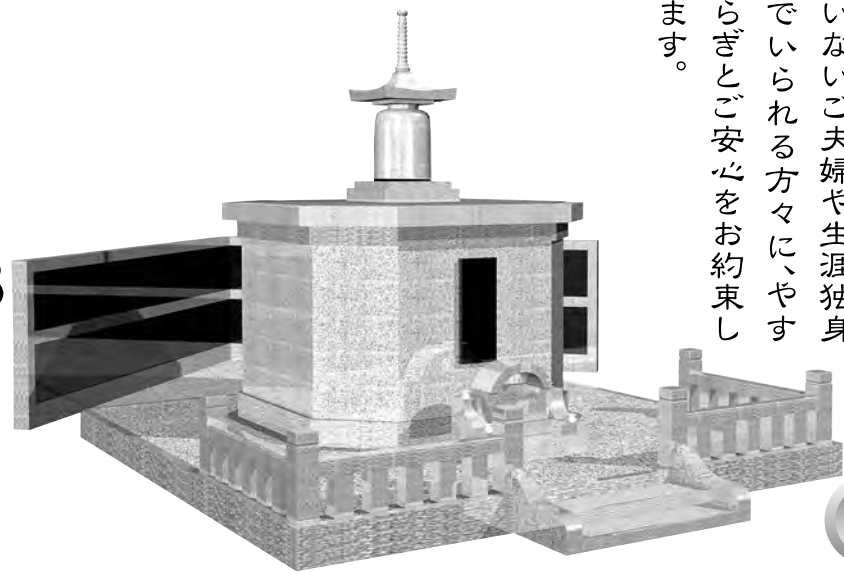
緑の林に囲まれた落ち着いた雰囲気です。ゆつたりとした南向き。お車でお参りできます。

一区画 30万円より (1坪・3.3㎡)

永代供養

お墓の供養祭祀の継承者のいない方、またご事情により、将来お墓を継承できない方のため当霊園が責任をもって、永代にわたりご供養し、おまもりいたします。お子様のないご夫婦や生涯独身でいられる方々に、やすらぎとご安心をお約束します。

永代供養塔



永代供養費 13万円より

曹洞宗群馬県第八教区主催

団体参拝

平成13年度

恒例の信仰と親睦の教区団体の旅を御案内申し上げます。

今年は大本山總持寺・小田原大雄山最乗寺と静岡岡県西伊豆堂ヶ島ホテルニュー銀水に宿泊します。1泊2日の大本山研修参拝旅行を企画いたしました。訪れる人を暖かく歓迎してくれる花と潮騒の郷西伊豆堂ヶ島温泉郷は、温暖な自然と歴史が育んだ見どころたくさんです。皆様お誘い合せてご参加下さいますよう、お待ちしております。

10月11日(木) 友引

桐生 = 佐野 = 都内 = 6:00
大本山總持寺 = 横浜町田I.C 9:20 ~ 12:00(参拝・昼食)
= 東名HW = 沼津I.C = 修善寺 = 堂ヶ島

曜日 十月十二日 金曜日 一泊二日 旅行代金 三二、〇〇〇円(バス・宿泊・見学・保険・昼食・有料道路・駐車料・宴会費・添乗費等) 朝食2・昼食2・夕食1 定員になり次第締切りますので早くお申込下さい。定員百六十名様。羽田空港より桐生着まで貸

10月12日(金)

ホテル = いずからや = 大仁 = 9:00 (お買物)
亀石峠 = 熱海 = 小田原大雄山最乗寺 9:20 ~ 12:00(参拝・昼食)
= 大井松田 = 東名HW = 都内 = 佐野 = 桐生

切りバスです、なるべくお宅近くまでお送りします。来年は、二二年(平成十四年)高祖道元禪師七百五十回大遠忌。平成十四年五月中旬、二泊三日(大本山永平寺)にて団体参拝旅行を予定しています。

お寺にかかる費用

お寺から、寺報に書くのは、かきつらいのです。が、良く聞かれる事なので率直に書かせていただきます。



桐生山鳳仙寺全図

鳳仙寺パンフレットが新しくなりました。鳳仙寺由緒略歴(鳳仙寺の略歴)(鳳仙寺指定文化財)などご紹介してあります。

鳳仙寺護持会 会計報告

寺報を利用して報告させて頂きま
す。護持会費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、一口三、〇〇〇円となっており、院号戒名の付いている家は、一口以上のお願いとなっております。十三年度の護持会費は、四月から八月(4月~8月)までお支払い願います。

〔平成12年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕

平成12年4月1日~平成13年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6 663 465	本山宗費	886 760
平成12年護持会費	2 830 930	火災保険料	46 690
銀行利息入金	11 399	下水道保守管理費	51 550
合同新年会補助戻	7 741	銀行手数料	630
		修理費(畳修理)	168 861
		工事費(敷設代金)	920 000
		慶弔費(花輪代)	4 200
		合同新年会・補助金	10 000
		(支出合計)	(2 088 691)
		次年度繰越金	7 424 844
合計	9 513 535	合計	9 513 535

(繰越内訳 = 普通預金6 415 123円・定期預金1 009 721円) 上記の通り、ご報告申し上げます。

平成13年4月29日

鳳仙寺護持会 総代 下山 晴夫
会計 池田伊佐男

護持会費 (鳳仙寺の檀家の会費) 鳳仙寺の檀家の会費で、総代さん世話人さんが役員をしています。会費は、護持会会計さんが管理します。年額 一口三、〇〇〇円です。

お寺の行事

お彼岸、お正月やお盆の時に寺参りをしながら仏様に上げの布施をお願いしております。

お施食会 (先祖の供養) 各家の先祖供養法要を毎年四月二十九日に行なっております。古い先祖は中々供養出来ないのが当市内のお寺さんに集まっていただきます。大供養を行います。お供養料三、〇〇〇円、お塔婆代、記念品「三尺坊お祭り」「鳳仙寺秋祭り」(火伏せの仏様) 毎年十月十六日にお祭りをしています。心の火/身にかかる火/火災や災難を防ぐとされています。お電話での申込みも受けております。お札 二、〇〇〇円 厄除け 毎年正月には、厄除けを受付けております。お電話ファックスでも受け付けております。お札をお送りする事もできます。

回数忌	年回表
一周忌	平成十二年
三回忌	平成十一年
七回忌	平成七年
十三回忌	昭和六十四
十七回忌	昭和六十年
二十三回忌	昭和五十四
二十七回忌	昭和五十年
三十三回忌	昭和四十四
三十七回忌	昭和四十年
五十回忌	昭和二十七
百回忌	明治三十五